

地理空間情報産学官連携協議会 G空間EXPOに関するワーキンググループ(第6回)  
及びG空間EXPO実行委員会(第6回) 議事概要

1. 日時

平成22年4月19日(月) 15時00分～16時30分

2. 場所

国土地理院関東地方測量部 地震予知連絡会大会議室(8階)

3. 出席者

<産>

(特)ITS Japan  
(財)衛星測位利用推進センター  
(社)国際建設技術協会  
(特)国土空間データ基盤推進協議会  
gコンテンツ流通推進協議会  
(社)全国測量設計業協会連合会  
(財)地方自治情報センター  
(社)日本建設機械化協会  
(財)日本建設情報総合センター  
(財)日本情報処理開発協会  
(社)日本測量機器工業会  
(社)日本測量協会  
(財)日本測量調査技術協会  
(財)日本地図センター  
(社)日本地図調製業協会  
(財)日本デジタル道路地図協会  
(社)日本ロボット工業会  
マルチメディア推進フォーラム

<学>

(社)測位航法学会  
(社)電気学会  
日本国際地図学会  
(社)日本地理学会

<官>

内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付)  
内閣官房内閣参事官(宇宙開発戦略本部事務局)  
内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付参事官  
総務省情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室  
法務省民事局民事第二課  
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課  
経済産業省製造産業局航空機武器宇宙産業課宇宙産業室  
経済産業省商務情報政策局情報政策課情報プロジェクト室  
国土交通省大臣官房技術調査課  
国土交通省総合政策局技術安全課  
国土交通省国土計画局参事官室  
国土交通省国土地理院企画部  
環境省大臣官房総務課環境情報室

<官(独立行政法人)>

(独)防災科学技術研究所  
(独)宇宙航空研究開発機構  
(独)森林総合研究所  
(独)産業技術総合研究所  
(独)土木研究所  
(独)国立環境研究所

<オブザーバー>

国土交通省総合政策局情報政策課  
海上保安庁海洋情報部技術・国際課  
(財)日本水路協会

4. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議事

展示会等の企画、運営について  
シンポジウムの企画、運営について  
G空間EXPO予算(案)について  
広報について  
今後の活動スケジュールについて  
その他

- (3) 閉会

## 5. 議事及び主な発言内容

### (1) 展示会等の企画、運営について

事務局より資料1 - 1、1 - 2説明、質疑はなし。

事務局より資料1 - 3説明、質疑はなし。

事務局より資料1 - 4説明

主な質疑応答

・セット小間 80 小間が 67 小間相当と言っていたが、それはどの部分に繰り込まれたのか？  
(「資料1 - 4 課題」の表)

本日の実行委員会において提案した出展見込み「通常小間 550 + セット小間 80」を達成するには、「通常小間 550 - 492 = 58, セット小間 80 - 80 = 0」で、通常小間を更に約 60 小間増やす必要がある(地理空間情報フォーラムの経験から達成可能と考えている)。

第 5 回実行委員会の時に通常小間 650 小間という計画を提出し、ご承認いただいた。セット小間 80 は金額ベースで通常小間 67 と等価なので、通常小間 650 を達成するのに必要な小間数は「通常小間 650 - 492 - 67 = 91」となり、通常小間をあと約 90 小間集めれば、目標小間数(650 小間)が達成できるという見方をしていただきたい。

・その 90 小間の中には見込み 60 小間が含まれているという事か。  
その通り。

展示会場の確定(展示会場を展示ホールB + Cとする)について了承された。

### (2) シンポジウムの企画、運営について

事務局より資料2説明

主な質疑応答

・共通経費の3割はどこに計上されるのか。

3割という共通経費については、「(会場費 + 設備費) × 0.3」となっている。したがって、オプションとなる設備費についても、その申込みに応じて共通経費として3割を負担していただく。

・会場とプロジェクター、ノートパソコンを借りた場合、「全部足した金額 × 1.3」が支払額という事か。

その通り。

・会場使用費については1日単位の利用料金で掲載されているが、何時から何時まで使った場合の料金なのか。また、半日の場合はどうなるのか。

1日単位の場合は 9:00 から 17:00 までとなる。半日単位の場合は、午前が 9:00 ~ 13:00 となり、午後が 13:00 ~ 17:00 となる。

・会場使用費について半日の利用の場合は半額になるとの事だが、設備費についても同じように考えていいのか。

設備費については半日単位のシンポジウムを基準とした料金を記載しているため、半日でのみ使用でも、記載の料金をご負担いただく事になる。なお、1日以上におよぶシンポジウムを行う場合の料金は、別途提示させていただく。

(3) G空間EXPO予算(案)について  
事務局より資料3説明、質疑はなし。

予算案について了承された。

(4) 広報について  
事務局より資料4 - 1、4 - 2、4 - 3説明、質疑はなし。

広報活動について了承された。

(5) 今後の活動スケジュールについて  
事務局より資料5説明、質疑はなし。

(6) その他について  
事務局より資料6説明、質疑はなし。

(7) 全体を通して  
主な質疑応答

・シンポジウムについて有料で実施することは無理としても、会場の入り口で資料等を販売することは可能か。  
可能である。

#### 【参考】

以下、「G空間EXPOに係るシンポジウムの運営について1.(2)」(平成21年10月31日臨時開催資料)より抜粋。

『シンポジウム等を実施する各団体又は機関は、シンポジウム等の実施に当たり入場料金を徴収しないものとする。ただし、希望者に対し、プロシーディングスを有料で配布することは可能とする。料金等については、実行委員会事務局に相談すること。』

・開会式典の表彰について、具体的な説明がなかったので確認したい。

表彰については以前実行委員会でご案内を行い、その後シンポジウム等の募集の際に、防災科学技術研究所とSPACから表彰実施の希望をいただいた。

・G空間EXPOの開催式典で、個別の機関による表彰を実施することについては、違和感がある。

この場で即決する事は難しいので、事務局で一度引き取り再整理する。また、メールベースで再整理した内容を意見照会させていただきたい。

・資料3の予算書について、550小間(通常小間)と80小間(セット小間)で収入を計画されているが、万一収入が減り、支出が減らない場合、そこに対する措置はどうするのか。

大幅なマイナスはないものと考えているが、減らすとなれば予算書の中の広報経費、事務局経費等が対象になるものと考えられる。

実行委員会としては展示の誘致に努め、予算案に従う形で執行したいと考えている。